

平成28年度 第3学年 前期授業アンケート 分析表

現代文	文章を深く理解し、自分の言葉で表現し合う活動を通して、世の中の様々な事象について着眼点を学んでいる。今後も、個人学習とグループ学習を適切に組み合わせ、さらに深く多面的な思考ができるように指導していきたい。
古典	地道に予習をして授業に臨み、よく努力している。また、音読や暗誦、白文読み等の音声学習を通して、古典を学ぶ楽しさと意義を実感している。今後もさらに学習の質を高め、教養のある人間として成長できるように指導していきたい。
数学Ⅲ	授業の難易度、進度とも生徒の実態に合っており、概ね意欲的に取り組んでいる。内容の理解に苦勞している生徒には、予習・復習をはじめ家庭学習を充実させるよう指導することで、授業の理解を高めさせたい。また、グループ学習も積極的に取り入れたい。
発展数学ⅠAⅡBⅢ	全体的に難易度も進度も適正で、生徒たちも概ね理解に努めていることがうかがえる。問題演習が多く、グループ活動を行う機会は設けにくい、グループ活動によって理解が高まるという生徒も多く、内容によっては機会を増やしたい。
発展数学ⅠAⅡB	授業の難易度、進度とも生徒の実態に即しており、授業中の取組の姿勢は概ね良好だが、予習や復習という点には、やや不十分さが見られる。今後この授業は益々難易度が上がっていくので、学習意欲を持続させる手立てを講じていきたい。
英語表現Ⅱ	授業での理解度が昨年度に比べて上がってきている。それに伴い、「英語で表現することへの抵抗感がなくなってきた。」「書く」活動と、「話す」活動を有機的に統合するような授業デザインを心がけていきたい。
コミュニケーション英語Ⅲ	3年生になり授業に積極的に取り組んでいる様子が見える。教科の特性で、ペアワーク、グループワークを多く取り入れているが、この言語活動が効果的に機能していると思う。
世界史B	授業の進度及び難易度については、生徒のほとんどが「ちょうど良い」と答えている。その一方で、内容が難しくなってきたと答えた生徒もやや増えてきたようである。今後も授業の改善に取り組み、歴史の面白さを生徒に伝えていきたい。
日本史B	授業内容・進度は適切という回答が多く、生徒も前向きに取り組んでいる。学問としての面白さをより伝えていければ、自学自習も充実していくと考えられるので、授業研究を重ねて意欲を高めていけるよう努力したい。
地理B	授業の難易度や進度は概ね生徒の実態に合ったものである。「難しい」と感じている生徒もあるので、より理解しやすい授業をつくるよう工夫したい。また、学問的な関心が高まるよう工夫を継続したい。
政治・経済	授業進度や内容について、多くの生徒が「理解しやすい」と答えている。時事的内容と授業内容をできる限りリンクさせるとともに、政治や経済、国際関係を通して世界と日本のつながりが意識できるような授業に引き続き取り組みたい。
物理	難易度について9割以上の生徒が「ちょうど良い」、「やや難しい」と感じており、7割近くの生徒が物理への関心が高まったと答えている。授業がやや難しいとの感想もあったが、今のレベルを維持しつつ、生徒の思考や関心をより深めていきたい。
化学	授業への意欲、授業の進度・難易度に関して評価が良好である反面、授業の理解に関してはまだ十分な評価でない。実験等の探究的、協同的といった生徒主体の学習形態をより多く取り入れつつ、「分かる授業」を目指して授業実践をしていきたい。
生物	興味関心が高くなった生徒がほぼ5割、もっと科目の内容に触れてみたいと感じる生徒もほぼ5割である。関心が高くない生徒も主体的に学ぼうとする意識をもつような授業展開に努めたい。
実践物理基礎	少人数で、全員学習意欲があり、授業に対する評価も良好である。高校卒業後は物理を履修する機会はない生徒ばかりなので、物理のおもしろさや考え方をしっかりと伝えておきたい。
実践化学基礎	授業の進度や難易度は適切と判断できる。理解度については若干追いついていない生徒がいるようなので、きめ細かい指導に配慮したい。グループ学習や発表の取り組みが十分とは言えないので、生徒の能動的な活動を取り入れた授業実践を心掛けたい。
実践地学基礎	授業に対する評価は良好である。今後も地学に対する関心を高める授業を展開し、地学基礎を通して将来も地球の環境、日本の防災について考えていくことのできる人間を育てていきたい。
保健体育	大半の生徒が授業に集中して取り組んでおり、進度・難易度についても適正である。3年生は週3回あるため、技能・体力の向上を感じている生徒が多いようである。男女共修選択制授業の充実を図り、生涯体育につながる力を身に付けさせたい。